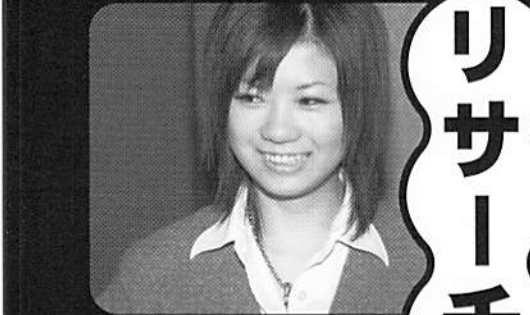
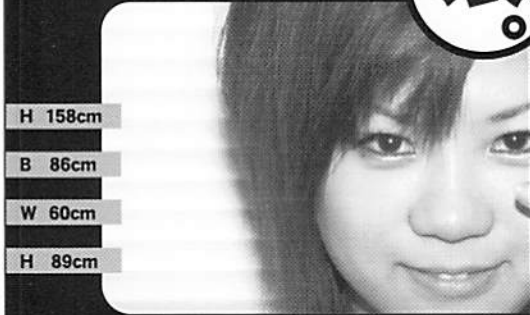


現在東京で音楽ディレクターを職とする僕も家は京都出身。自身のレーベル「dtj」を立ち上げるにあたり、京都学生人口約30万人の中から「京都版モーニング娘。」を作り上げるのが昨今の夢。新人発掘のプロセスを記事にしたら面白いんじゃないか？と本誌編集長に持ちかけてみたら、はやりものチェックも一緒にやってみよう！と意気投合。今号に至る。



星山万里子 hoshiyamamariko



H 158cm
B 86cm
W 60cm
H 89cm

4月某日、ヤバイ、まだ肌寒い、しかも人がいない。困ったよ、明日原稿締め切りなのに。とりあえず京都駅周辺をぶらついてみたけど、修学旅行生しかいない。諦め気分でタクシーに乗り込み河原町に向かう車窓から、視界に開けたスターの輝き！東京でもスカウトの達人の異名を持つ僕の鼻は利く。間違いない「この娘ならイケる」と確信を持って笑顔にむかって一目散、タクシーを飛び下りとにかく名前を聞いた。「星山万里子」16才カワイイ！！オープンが待たれるGATOビル前で取材開始。親友舞子とテスト休みを持って余してたようで、雑誌×2と大はしゃぎ。昨日切ったばかりの毛先のシャギーを気にしながら、アンケートを書き込む照れ屋な彼女にダイヤの原石を感じつつ撮影終了。最後にはやりものチェックをしてみた。出てきたのは、今やドラッグストアでも買える程大人気「モッズソリッドワックス」。今からマウジーに行くよ〜、とバイバイするまでDragonAsh「Life goes on」を唄い続けた彼女が、京都発のアイドルになりうる日はくるのか？！次号衝撃の展開が！（asayan風）

Hoshiyama Mariko
1985.10.13生の16歳



好きなアーティストはDAの降谷君。よく行くお店はキャルブランド「マウジー」と何故かとかかつチェックイン「かつくら」。セブイレブンの「まちのおかしやさん」。シリーズが好物でついついお太る毎日。

はやりもの
チェック

モッズソリッドワックス。髪にじんわり染み渡るmod's hairの大ヒット商品。「これがあれば体育の授業でも、前に出るよ」と万里子君。彼女の周りでは今このワックスでくしゃくしゃパーマ風にセットするのが流行っているらしい。ちなみにいきつづの美容室はmod's hair 京都店 075-371-2858だぞ。



現在「リサーチくんぐ娘」の制作中。田中さん見られたい！リサーチくんぐ娘。読者投票による特別企画も予定！夏フェス！

リサーチくんぐ娘

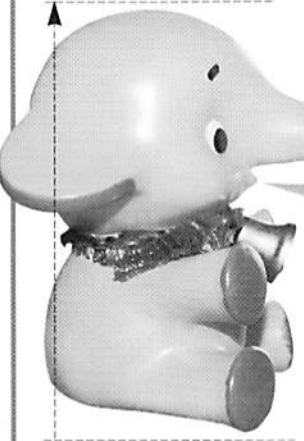
PROFILE 1958年、京都生まれの専任リサーチナーファーで企業キャラコレックター。雑誌編集長をしつつ、日夜ペンネームにて町を徘徊しては、下世話ネタをあさっている。特技：若づくり
http://www.m21.or.jp/fame/aikuru

37

佐藤製菓

サトちゃん

80mm



誕生日：昭和34年4月10日、皇太子殿下ご成婚を記念して一般公募4万7千6百通の中からペットネーム決定、立体造形としての初代サトちゃん誕生！昭和30年の6月に佐藤製菓の印刷物に使われたイラストが原型
デザイン：童話作家の飯沢匡氏とブーフーの人形作家として有名だった土方重巳氏のコラボレーション
身長：80mm（上記写真サイズ）
モチーフ：象。平均寿命が70〜80才、なかには100才という象もいるので健康で長寿、明るいイメージが若者男女に幅広く愛されることから
特徴：とにかく元気な明るく健康！いつの時代も子どもたちに大人気
妹分：サトちゃん。佐藤製菓の30周年を記念して昭和57年に誕生



ミッドセンチュリーとか、いきった言い回しのカテゴリーを引っ張ってはカフェはインテリアだとかぬかして、田舎のエセ東京人には所詮解からねーとは思っただけさあ、高度成長期をリアルタイムに過ごしてきたおいらにとっちゃ、イームズの椅子よりこの初代のサトちゃんの哀愁漂うフォルムの方が、ずっと素敵だっただい。母親の背中越しに薬局屋の店頭でムーバーとか呼ばれる、10円入れたら背中によって揺られて遊べる乗りモン見て育ててきた筋金入りの昭和野郎！だからして、スキンが切れたのかサブキンが急に入用になっちゃったのか、夜中にいきなり親に叩き起こされ無理矢理つきあわされた薬屋でぐずったおいらに店主がそと手渡してくれたのが、今回のサトちゃんだった。押入れを片付けていると、何年前かに古臭そうな薬屋ばっかをあたっては、必死の思いで手に入れたこのサトちゃんが偶然出てきて、思わず走馬灯しちまった！あ〜それにしてもこの時代のサトちゃんはほんに可愛いご尊顔。昭和57年9月以降の新顔や最近のそれとは比べ物にならないくらい光り輝く、言うなれば

まったくの別サトちゃんキャラでござった。長方形のお下がりがまゆげ、首に巻きつく鈴付きモールに歪な頭のそのキャラは、はしかの時もみずぼうそうの時もいつもおいらの横で元気付けてくれたものである。昭和34年、まだ知名度のなかった佐藤製菓に画策を練っていた当時の宣伝部長、大槻彰氏が渡りして初めて出会ったデイズニーキャラにカルチャーショック！帰国後、相談を持ち掛けた上野動物園の園長に「健康と長寿」の象徴、ゾウをマスコットにどうかと提案してもらったというエピソードはあまり有名だが、あたくし今回決心したね。企業キャラだったら何でも集めりゃいいもんじゃなく、やっぱりよいこだったあの頃の思い出がいっぱい詰まった当時のキャラ1本に絞ろうとね。そうそう、そういやあ今時の薬局屋さんの店頭でデイズプレイされてるあの結構大きいサトちゃんとサトコちゃんあるじゃない？欲しい人はコミックショックは八条口本店の古賀店長（075-661-7090）に連絡してみても。おいらが放出しちまったその2体、結構安価で譲ってくれるはずだよ。



京都二大門前市朝駆け 対決

あれは95年頃？どこへ消えたか「フリマ」のブーム。やはりシロートには無理だった？それほど奥深いのか「露店」の真価、京に名高いこの門前市、見極めるならこれ以上の存在はなし。この日は朝は寝坊厳禁、徹夜覚悟で夜明けに走れ！

	弘法市（東寺）	天神市（北野天満宮）
アクセス市場	毎月21日、夜明けから日没まで。近鉄東寺駅から徒歩5分、市バスなら202/207/208系統にて。	毎月25日、朝8時頃から日没まで。飲食屋台は夜9時頃まで。市バス203系統、チンチンバスの101でも。
スタート市場	早朝勝負。太陽が完全に目覚める頃には目ぼしいものはスカラカン。儲切りも早朝が成功率高し。買い物するなら8時まで、その後には動き出す食ベモン屋台で朝食を。	こちらも早朝勝負！と意気込むや、案外遅がけのほうが多ク。だって露店も食ベ物屋台もまだ準備中、動き出すのは9時〜10時。キタはやっぱり重役出勤だね。
キャパシティ市場	骨董、着物、植木、食材を中心にその数約千店。飲食や洋服露店のパワーはちっと低め。渋〜い/濃い〜の面々に、全部見て回るだけでイッパイイッパイ。全部見たかどうかかわからない複雑な分布はカラダ貧窮君にはつらいかも。	飲食、骨董、着物に古着。ピンテージジーンズやエスニックものなど、やや若ウケの店並び。店数計は数百店と小規模で、飲食ロード・骨董ロードとわかりやすいジャンル分布に征服スピリットはたやすく満足させられる。
アングリー市場	「アンタには値が合わない！穴けたらかなんしいらわん」といっての暴言を吐いたのは骨董屋のおばちゃん。「価格は応相談！」と言いつつのみで一向に相談してくれないアロハ屋の兄ちゃん。オイオイ、売る気ないなら粉らわしいから家であつてよ。	まだ店も開かぬ早朝の寒空の下、とりあえずお参りをと本殿への参道を徒歩。と、隣を歩くおちゃんかケータイ会話をやめてまでの朝一番のお声がけ。「こはアンタ、縁結びの神さんとかやうでえ？」よけいなお世話よ、ほっといて!!
フォーリナー市場	北政のパンを売ってたアンジェイ（♂）。美味いけど、ちょっと酸っぱい感じがしたか？と思わせるそのパンよりにもよるも、市のざわめきとは裏腹に、当の本人がアンジェイにヘコむたのが気になります。何があったのアンジェイ。がんばれアンジェイ。負けるなアンジェイ。	「着物1枚500円〜」と呪文のようにひたすら繰り返すお手伝い少年。着物にゃ目がない外国人も「チープレコーダー？」と訝り商品よりも彼にクサ付け。そして店主の父からお駄賃100円をもらおうと「イエー、ピアノピアノ！」と叫んで駆け出す少年。アンター体ナ二人やねん？